

島津製作所発：知財AI「Genzo AI」が拓く業務改革の未来

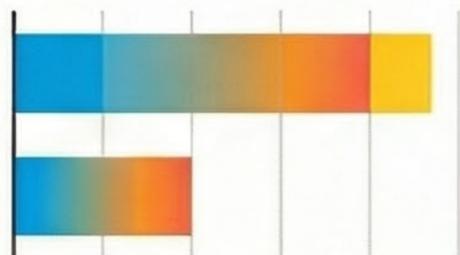
島津製作所が自社開発で培った知財業務自動化ノウハウ (Genzo AI) の有効性と、そのサービス概要を伝え、導入による生産性向上を想起させる。

圧倒的な実証データと導入効果



外部コストを削減

島津製作所内での実証実験において、劇的なコストダウンを達成しました。



他社特許のスクリーニング作業を90%削減するなど、劇的な効率化を実現。



審査対応分析を「約2分」で完了

従来、数ヶ月・数百万円を要していた外国拒修理由通知の分析を瞬時に実行します。



320社・売上15億円

導入目標(2030年度)

実務に直結する6つのモジュールと信頼性

知財業務の全工程をカバー

発明発掘から翻訳、審査対応、契約書レビューまで6つの機能で網羅。



利用者数が増えても料金が変わらず、組給会体での知財活用を促進します。



ハルシネーションを抑制する3原則

モデル協定、ステップ分解、情報限定により実務レベルの品質を確保。

島津製作所が自社内で大幅なコストと工数の削減を達成した知財AIプラットフォームを、2026年4月よりSaaS形式で外部提供開始。大企業の高度な実務ノウハウを「プロンプト化」して凝縮し、知財業務の民主化を目指します。